

2024 年 5 月 23 日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名（グループの場合は代表者）：藤井 利男
 - ・年齢：
 - ・コールサイン（局免許保有者の場合）：JN1CAX
 - ・連絡先 住 所：
 - メール：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）
 - ① 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア
 - ② アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア
3. アイディア名：小・中学校の放送室や公民館に地域の防災通信を担うアマチュア無線クラブ局を設置する。
4. アイディアの概要（200 字以内）：全国各地域にある小・中学校の放送室や公民館に（出来れば小・中学校の放送室の方が、学校が「避難場所」に指定されている事が多く望ましい）地域のアマチュア無線家やクラブがボランティアで不要になった又は寄付する無線機や空中線等を持ち寄り無線局を運用出来るように設置する。
5. 詳細説明（図表を含めて 4 頁以内）：JARL・JARD・JAIA 各団体はまず今回の内容がインフラダウンの際の「非常通信」でのアマチュア無線の活用が速やかに避難場所で行える旨を説き関係省庁へのお願いを行いクラブ局を設置出来るように運動を行う。

設置許可が出れば各団体はメディアを通じてその地域で協力して頂ける最初の人員募集や機器類の提供願いを行い代表者が決まる所迄協力する。

古い機械の場合スプリアス規制対象になる物も多く含まれるが、JARD はこれを担い免許申請を円滑に行うことが出来る。

学校や公民館の行事に併せて各団体も協力出来る所は協力し公開運用（無

資格者の体験運用）を行い広く学生や地域の住民にアマチュア無線の公益性や楽しさ、勉学に通じる知識向上を広める。

それに合わせて資格を取る為の「勉強会」や「講習会」を企画し興味を抱いた子供や若い世代、お子さんの付き添いの親御さん達にも多いに受講してもらい、家族ぐるみでの共通の趣味を持つ有意義さを感じてもらう。

既に運用されている地域のアマチュア無線家にはこのクラブ局でのQS0をきっかけに勧誘して協力して頂ける事柄を協力してもらう。（月に1度以上はロールコールや公開運用を行う事が望まれるが学校等の昨今のセキュリティの観点から放送室での運用は難しい事が想像出来るが、教職員さんの協力が有れば平日の放課後に実施可能と思われる）

アマチュア無線家の高齢化が言われているが、次世代への橋渡しの役目として呼びかけを行えば多くの局が役に立ちたいと協力する事と思います。

以上